

第6問 高校生のアヤネさんは、北海道の^ふ富良野市とその周辺地域の歴史や観光に興味をもち、次ページの図1の20万分の1地勢図(一部改変)で示された範囲の地域調査を行うことにした。この地域調査に関する下の問い(問1～6)に答えよ。(配点 17)

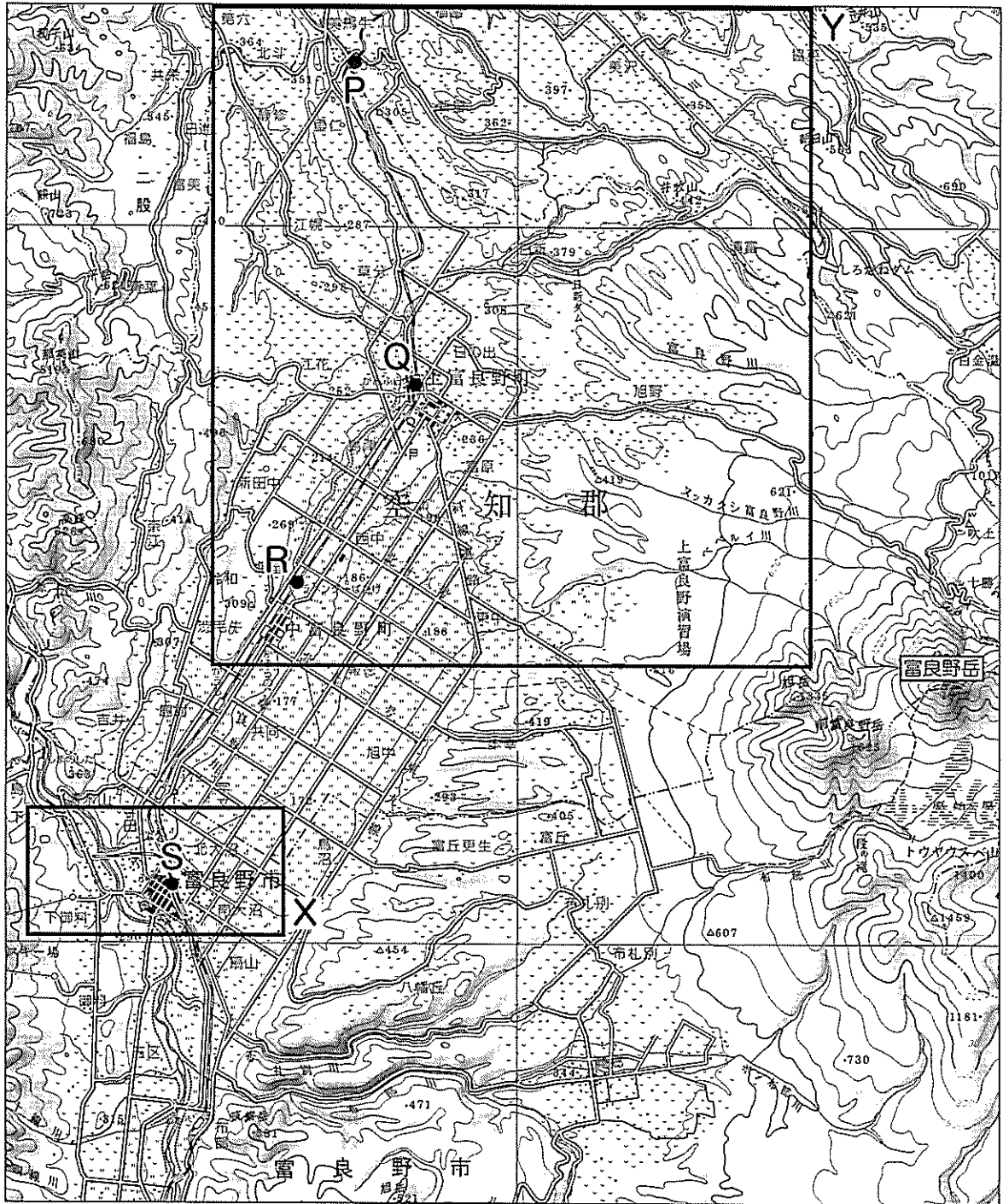


図 1

問 1 アヤネさんは、JR 富良野線の列車に乗り、前ページの図 1 中の P 駅から S 駅に向かって移動し、車窓から東側の景観を観察した。その景観を説明した文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

31

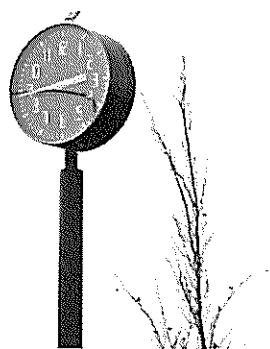
- ① P 駅を出発すると、Q 駅まで連続して市街地が見えた。
- ② Q 駅と R 駅の間では、^{ふ ら の だけ}富良野岳の斜面が見えた。
- ③ R 駅への到着直前に、駅前の市街地や公共施設が見えた。
- ④ R 駅と S 駅の間では、一面に広がる果樹園が見えた。

(下 書 き 用 紙)

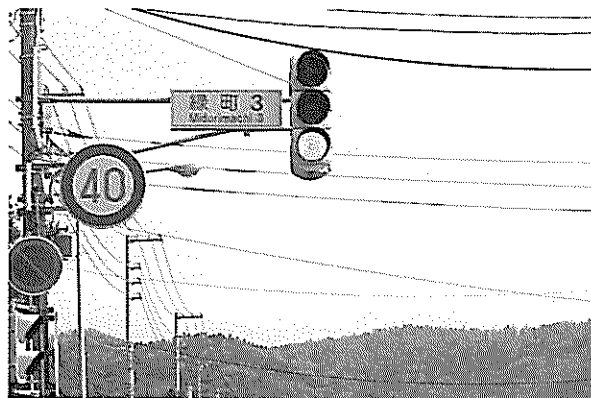
地理Bの試験問題は次に続く。

問 2 次ページの写真 1 中の①～④は，この地域の気候に対応した生活のあり方に関心をもったアヤネさんが，様々な場所で撮影したものである。主に積雪に対応したものとして適当でないものを，写真 1 中の①～④のうちから一つ選べ。

32



① 上部に太陽電池が
付いた時計



② 縦型の信号機



③ 道路の境界を示す
標識



④ ホース取り付け部
の位置が高い消火栓

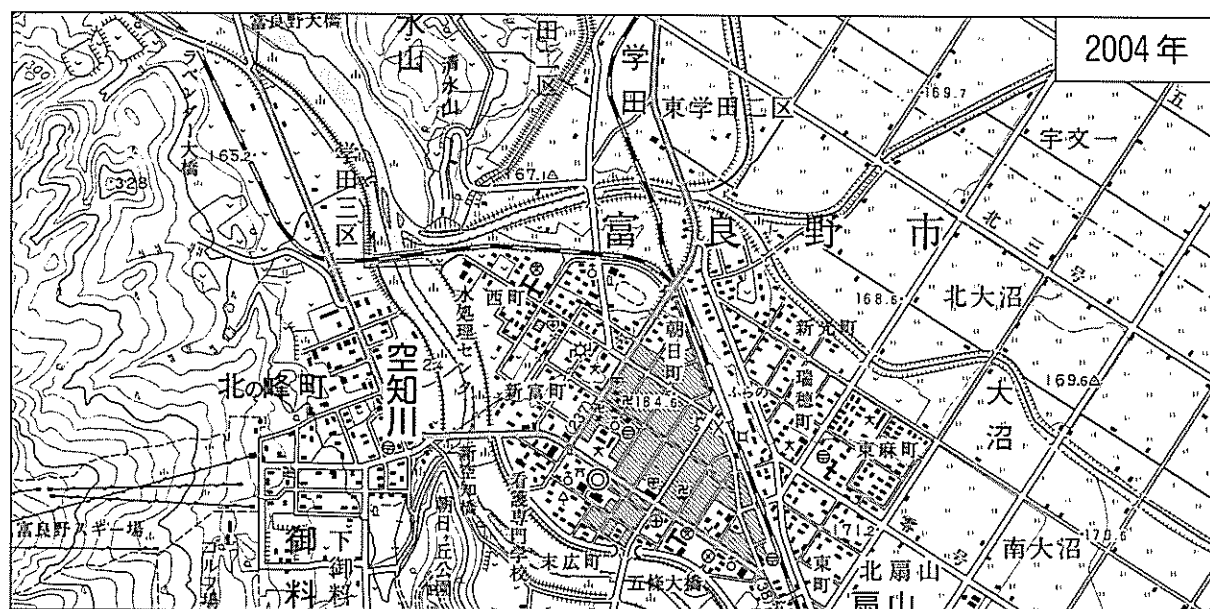
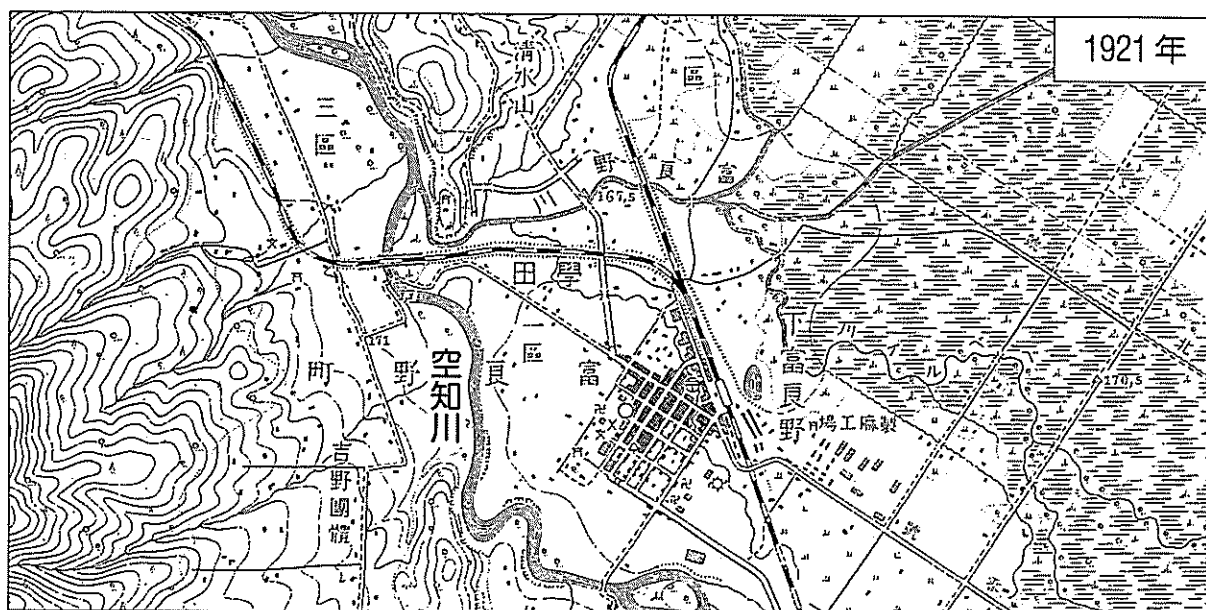
写真 1

(下 書 き 用 紙)

地理Bの試験問題は次に続く。

問 3 アヤネさんは、富良野市の土地利用変化を調べるために新旧地形図の比較を行うことにした。次ページの図 2 は、167 ページの図 1 中の X の範囲における 1921 年と 2004 年に発行された 5 万分の 1 地形図(一部改変)である。図 2 から読み取れるこの地域の変化について述べた文として適当でないものを、175 ページの①～④のうちから一つ選べ。

33



☒ 2

- ① 市街地は鉄道駅に接して形成されていたが、その周辺に主要な公共施設がつくられ、駅西側を中心に市街地が拡大した。
- ② ^{そらちがわ}空知川が改修され、旧河道の一部を活用して鉄道や郵便局が新たにつくられた。
- ③ 空知川西岸の^{よしのだんたい}「吉野團體」と記された開発地とその周辺には、宅地やスキー場、ゴルフ場などがつくられた。
- ④ 東部の格子状の区画では、かつては湿地の状態であったものが、排水などが行われて水田となった。

(下 書 き 用 紙)

地理Bの試験問題は次に続く。

問 4 地域の農作物や乳製品を利用したご当地カレーを食べたアヤネさんは、富良野地域の農業に関心をもち、統計資料を収集した。次ページの図 3 は、167 ページの図 1 中の Y に示された範囲における米、ジャガイモ(馬^ば鈴^{れい}薯^{しょ})、乳牛の集落別の農家の戸数を示している。戸数の分布とその背景に関して説明した文として適当でないものを、179 ページの①～④のうちから一つ選べ。

34



米



ジャガイモ



乳 牛

(戸数) ・ 1～3 ・ 4～6 ・ 7～9 ● 10～

統計年次は 2010 年。農林業センサスにより作成。

図 3

- ① 米は、北海道特有の気候条件に対応した新たな品種が開発され、盆地を中心に農家が分布している。
- ② ジャガイモは、大規模な灌^{かん}漑^{がい}施設を必要としないことから、ほとんどの農家は丘陵地に分布し、盆地にはみられない。
- ③ 乳牛を飼養する農家は、戸数が少なく、山^{さん}麓^{ろく}の緩斜面や丘陵地を中心に分布している。
- ④ 農業に適さない土地や、自衛隊の^{かみ}上^ふ富^ら良^の野演習場があるため、米、ジャガイモ、乳牛に共通して農家が少ない場所が存在する。

問 5 アヤネさんは、富良野地域において森林開発が大きな役割を果たしてきたことを知り、地元の博物館をたずねた。アヤネさんと博物館の学芸員との次の会話文中の空欄サとシに当てはまる語の正しい組合せを、182 ページの①～④のうちから一つ選べ。

35

アヤネ 「富良野には多くの森がありますね。その特徴は何ですか」

学芸員 「冷帯(亜寒帯)に属するこの地域では、針葉樹と(サ)の混交林(混合林)に広く^{おお}覆われ、その樹種の構成をいかし、森がもつ再生力を活用した林業を行っています。また^{かんばつ}間伐材の活用なども注目されています」

アヤネ 「日本の林業は今も盛んですか」

学芸員 「日本の木材需給の推移を示した表 1

をみると、近年の木材自給率は（ シ ）傾向がみられます。なお、林業就業者数は全国的に減少していますが、北海道においては増加しており、都道府県別の木材生産量も北海道が最も多く、重要な産業の一つです」

表 1

(単位：千 m³)

	国内生産量	国内消費量	輸出量	輸入量
2002 年	16,920	89,195	568	72,844
2012 年	20,318	70,769	1,420	51,870

農林水産省の資料により作成。

	サ	シ
①	常緑広葉樹	上 昇
②	常緑広葉樹	低 下
③	落葉広葉樹	上 昇
④	落葉広葉樹	低 下

(下 書 き 用 紙)

地理Bの試験問題は次に続く。

問 6 富良野地域における多様な観光資源のあり方に関心をもったアヤネさんは、月別観光客数の推移について富良野市役所で統計資料を入手し、186 ページの図 4 を作成した。この地域の観光に関連したことからまとめた次ページの表 2 も参考にしながら、図 4 から読み取れる富良野市の年度ごとの夏季・冬季*の観光客数の傾向と、その背景に関して説明した文の下線部が適当でないものを、187 ページの①～④のうちから一つ選べ。

36

*夏季は 7 ～ 9 月，冬季は 1 ～ 3 月。

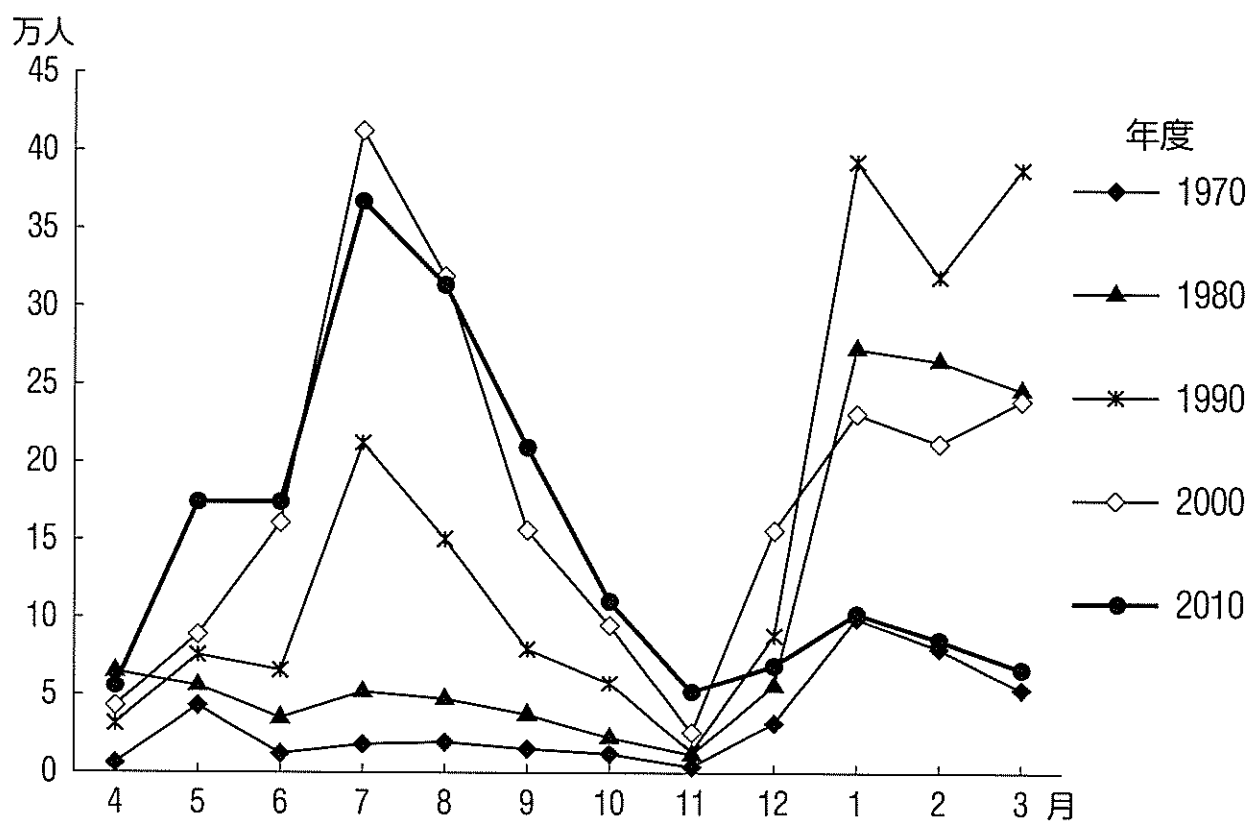
表 2

1976 年：国鉄(現在の JR)のカレンダー
に、夏のラベンダー畑が掲載

1977 年：富良野スキー場でスキーワールド
ドカップ開催

1981 年：富良野を舞台としたドラマ「北の
国から」シリーズ放送開始

2005 年：富良野を舞台としたドラマ「優し
い時間」放送



富良野市商工観光課の資料により作成。

図 4

- ① 1970 年度には、冬季にピークがみられたが、1980 年度にはスキー観光を中心として、冬季のピークが顕著になった。
- ② 1990 年度には、ラベンダー観光の地域への広がりにより、冬季とともに夏季にピークが現れた。
- ③ 2000 年度には、スキー観光客の減少やさらなるラベンダー人気の高まりにより、夏季の観光客数の合計が冬季の 2 倍以上となった。
- ④ 2010 年度には、新たな観光資源の開発や誘致策もあり、冬季・夏季以外のいくつかの月における観光客数が増加する傾向がみられた。